

代表質問

楠井 常夫 議員

新政会

市民が地域の魅力を市外に発信できるような「住みたいまち」の実現を

Q 「住みたいまち」としての魅力を高めるためには、市民が地域の魅力に気づき、自信をもって市外に向かって発信することも重要である。坂出市教育大綱の中に「ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実」があるように、市民意識の醸成にどのように取り組んでいくのか。

A ふるさと坂出を誇りに思う心は、市民の心の中に確実に育まれていると確信しています。行政のみならず、市民共働で坂出の魅力を積極的にPRしていくなど、その時々々の社会情勢や本市の現状と課題を的確に捉えつつ、一人でも多くの方々に「住みたい」と思われるようなまちの実現に向け、各種施策の展開を図っていきます。
(市長)

質問の項目
・人口増対策の推進について
・老朽危険空き家除却支援事業の実施について
・鳥獣被害対策の推進について
・公園整備の推進について



新たに設置する共働課が中心となり地域コミュニティ活性化の推進を

Q 市民参加、市民共働を推進するために、新たに設置する共働課が果たす役割は。

A 地域課題の解決に向けた取り組みとして出前市役所を創設するなど、これまで一貫して「市民共働」を基本理念とした市政運営に取り組んできました。特に自治会については、市民と行政のパイプ役として非常に重要な存在であり、核家族化の進展に伴い、人間関係の希薄化が問題となる中、その役割がますます増大かつ多様化していくことを踏まえ、新年度より共働課を設置し、財政的支援を拡充するとともに、加入率の向上に向けた取り組みを推進していきます。
(市長)

ふるさと納税制度を積極的に活用したシティプロモーションの推進を

Q ふるさと納税で多額の寄附を集めている自治体においては、情報誌等に盛んに取り上げられるなど、多大なPR効果を上げている。新年度においてふるさと納税制度にどのように取り組んでいくのか。

A 新年度より、寄附件数や寄附金額の増加だけでなく、さらなる本市特産品のPR、地元企業の活性化を図るため、「さかいでブランド」以外にも本市にゆかりのある商品やサービスを提供できる事業者等を新たに募集するとともに、ふるさと納税の事業に実績のある業者に業務を委託し、新たな返礼品の発掘やカタログの作成、インターネットや新聞、雑誌などを通じた効果的なプロモーションを行い、坂出市の認知度向上に取り組んでいきます。また、ふるさと納税専用サイトやクレジット決済の活用により利便性の向上にも努めていきます。
(副市長)



いっしょに考えていきませんか わたしたちのまちのこと



ギカイを 観る
本会議、委員会のご自由に傍聴いただけます。また、お体のご不自由な方も車いすのまま傍聴できますので、お気軽にお越しください。

ギカイを 読む
本会議での質問や答弁などの発言は、毎回、会議録にまとめられ、図書館または市議会ホームページから自由にご覧いただけます。ぜひご利用ください。

ギカイを 視る 聴く
一般質問の模様に関しては、ケーブルテレビ(KBN)の生放送とインターネット配信(録画)でご覧いただけます。配信映像は市議会ホームページからご利用ください。